

20 年産夏秋野菜の消費拡大の取組について

(全国農業協同組合連合会)

平成 20 年 9 月 9 日

[野菜需給協議会幹事会資料]

J Aグループの夏秋野菜消費拡大に係る取組み状況について

全国農業協同組合連合会

J Aグループの最近の消費拡大に係る取組みについて、以下のとおり報告する。

1. 取組概要

- キャベツおよび夏野菜レシピの配布
- 野菜消費拡大チラシの作成および全県での配布
- やさいの日（8月31日）の全国一斉取組みの実施

2. 取組みの内容

(1) キャベツおよび夏野菜レシピの配布

ア. 実施日：平成 20 年 8 月 22 日（金）

イ. 場 所：J Aビル前（東京都千代田区大手町）

ウ. 参加者：J A 婦恋村組合長他、全農群馬県本部職員、全農本所職員、農水省生産局職員

エ. 内 容

(ア) キャベツの無償配布（600個）

(イ) 夏野菜レシピ 「暑さすっきり！夏の野菜レシピ集」の配布



* 8月19日（火）に農水省が記者レクを実施したこともあり、このキャベツの無償配布および価格低迷の状況は、TBS・日本テレビをはじめ多くのマスコミに取り上げられた。

(2) 夏野菜消費拡大チラシの作成・配布

ア. 作成時期：平成20年8月

イ. 作成枚数：10万部

*農畜産業振興機構の補助事業を活用

ウ. 使用

(ア) 全農本所が作成し、全県連・県本部へ送付

(イ) 県連・県本部にて、各県独自の催事および「やさいの日」などのイベントの際に消費者へ配布



(3) 「やさいの日」の全国一斉取組み

「やさいの日」(8月31日)にかけて全県一斉に取組みを実施した。

各県における取組み状況

ア. 内容

(ア) 街頭およびイベント会場等におけるチラシ等の配布

(ウ) 量販店等における消費拡大・販売促進の取組み

イ. 取組みの概要 別紙のとおり

都内における取組み内容

ア. シンポジウム開催

場所：丸の内OAZO(東京駅丸の内口)

内容：タレント・ジャーナリスト・生産者らによる、産地の現状・青果物摂取の重要性等に関するパネルディスカッション

イ. 産地アピール

内容：県産野菜のPRと県産品の来場者プレゼント

参加：19 県連・県本部および野菜生産者 全国からの動員数は 62 名



ウ. ラチシ配布

場所：シンポジウム会場（東京駅）周辺、東京ドーム、お台場他

参加：24 県および本所 動員総数は約 100 名

[配布数]

場 所	配布物	枚 数	備 考
丸の内	チラシ	1,000	
東京ドーム	チラシ	4,000	8/30・8/31 両日合計
お台場	チラシ他	4,000	
量販店	チラシ他	1,400	
	計	10,400	



エ. 量販店での調理実演

内容：キャベツの使いきり使用法、野菜摂取の重要性のベジフルティチャーによる情報発信とチラシ配布およびマネキン投入による販促活動

店舗：大手量販店の大型店舗 20 店

以 上